

提 案 概 要

| | |
|------|-------------------|
| 実施期日 | 8月2日(火) |
| 部会名 | 中学校 技術・家庭(家庭分野)部会 |

1 提案テーマ 『生活を工夫し、創造する能力を育成し、
子どもたちの実生活が豊かになる教材の研究』

2 題材 住生活と自立 「住まいの安全について考えよう」

3 学年 第1学年

4 平成27・28年度神奈川県中学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

- ① 3学年間を見通した指導計画、評価計画の作成と学習指導の工夫
- ・実践的・体験的な学習活動、問題解決的な学習、言語活動の充実をめざした学習指導の工夫

5 学習指導要領との関連

第2章 第8節 技術・家庭 第2 各分野の目標及び内容 [家庭分野]

2 内容 C 衣生活・住生活と自立 (2)

ア 家族の住空間について考え、住居の基本的な機能について知ること。

イ 家族の安全を考えた室内環境の整え方を知り、快適な住まい方を工夫できること。

6 実践に向けての課題意識

内容「C 衣生活・住生活と自立」では、生徒の住まい方の違いやプライバシーへの配慮の必要性がある。そのため、教師側も授業の展開や使用する教材についての工夫や配慮が必要となり、実践的・体験的な学習活動が他の題材に比べて難しいと感じている。地区中学校教育研究会では、生徒の住まい方の違いやプライバシーへの配慮をしつつ、生徒の「生活を工夫し、創造する能力」の育成につながるような教材研究を進めてきた。その一つである絵本を教材として使用した授業実践によって、生徒の「生活を工夫し、創造する能力」を育成し、実生活を豊かにすることにつながったのかについて考察していきたいと考える。

7 実践の概要

本実践は、「住まいの安全について考えよう」を題材とし、ミサワホーム総合研究所から出版されている絵本、『ヒヤリハットさんちへいってみよう!』を教材として使用した。授業のねらいは、「家族の安全を考えた室内環境の整え方と住まい方について理解ができること」、「安全で快適な住まい方について課題を見付け、その解決を目指して工夫できること」とした。絵本の中で描かれる住まいの危険な箇所や課題を探し出し、家庭内事故について考えさせた後、生徒自身の住まいにおける、危険な箇所や課題を見付け、家庭内事故を防ぐためにはどのような安全対策の工夫が必要かについてワークシートにまとめさせた。授業は、「実践的・体験的な学習活動」「問題解決的な学習」「言語活動の充実」を取り入れ、生徒の「生活を工夫し、創造する能力」を育成し、実生活を豊かにすることにつながる授業展開を目指した。

8 成果と課題

絵本は生徒の興味関心を惹き、住生活に目を向けるきっかけとなった。また、グループ活動を取り入れることで、学びを深めることにもつながった。まとめでは、多くの生徒が自分の住まいの危険な箇所や課題、安全対策の工夫をワークシートに記入することができていた。しかし、「具体的な安全対策の学ばせ方」、「グループ活動の方法」、「生活への実践」についての課題が見えてきた。

9 予想される協議の柱

- ・内容「C 衣生活・住生活と自立」では、実践的・体験的な学習活動、問題解決的な学習、言語活動の充実を目指した学習指導のために、どのような教材を使用し、どのような授業を展開しているか。